

Doc.No: NR020530

2002年5月30日

エコノミータイプの高精細プリント基板用外観検査装置を販売開始

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区)の電子機器カンパニー(社長:葛川幸隆)はエコノミータイプのプリント基板用光学式外観検査システム「PI-8000」を2002年6月3日から販売します。

ここ数年で普及した携帯端末機器は、動画対応の携帯電話が登場するなど、さらなる高性能・小型化が進んでいます。それに伴い、プリント基板も40~80ミクロンの配線幅を持つ高精細なものが需要を伸ばしています。

この装置は、高精細プリント基板の検査に対応した外観検査装置「PI-7000」シリーズの後継機種で、検査データの生成、検査だけでなく、これまでオプションで対応していた目視確認機能を標準装備したエコノミータイプ。高精細な配線パターンに対応し、最小40ミクロンの線幅までの検査が可能になっています。検査速度も40ミクロン幅の配線パターンを持つ610×457mmの基板を20秒で処理できるなど、従来の約2倍の生産性を実現しました。

また、椅子に座ったままの作業を可能にするなど、エルゴノミクス(人間工学)に配慮したデザインを取り入れているほか、オペレーションソフトもWindows XP上で動作させるなど、ユーザーの操作性を考慮した設計になっています。

* この装置は6月5日から東京・有明ビッグサイトで開催されるJPCA Show 2002で実機展示します。

< 販売開始予定 >

2002年6月3日

< 国内希望販売価格(消費税別) >

4,500万円

< 年間販売予定台数 >

150台



PI-8000

[本件についてのお問い合わせ先](#)

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室: Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

< 特長 >

1. 従来比最大 2 倍の高速検査
画像取り込み速度を大幅に高速化し、当社従来装置比で最大2倍の高速検査を実現。40 μmのファインパターン対応のファインモードで、610(w)×457mm(d)の基板の場合、わずか20秒/面 で検査。(同一の生産性は最大検査範囲 X方向674mmまで対応) 独自の検査アルゴリズムにより信号層・電源層・ミックス層などの基板種類の影響も無し。
検査時間には基板高速送り、アライメント時間を含む。
2. スキルレス操作を実現
オペレーションソフトにWindows XPを採用し、操作性を向上。検査条件の設定操作にナビゲーション機能とテンプレート機能を装備し、初心者でも素早く、簡単に操作可能。
3. オールインワン仕様
検査ユニット、CADデータ入力機能、目視確認ユニットをすべて装置本体に集約。これにより、1台の装置で検査データの生成から検査、目視確認までの作業が可能。ペリファイ機能搭載で、スピーディーで効率良い少量多品種検査・抜き取り検査・両面交互検査を実現。
4. エルゴノミクス & 省スペース設計
作業性を考慮したエルゴノミクスデザインを採用。楽な姿勢がとれる座り作業を標準とし、装置高さ、スイッチ類の配置、モニタ位置などの細部まで見直し。装置本体の設置スペースは従来装置比で2 / 3の省スペース化を実現。
5. パキュームテーブルの採用
パキューム式テーブルを採用することにより、薄もの基板でも正確な検査が可能。
6. 量産工場での自動化システムに対応
プリント基板の供給・排出が可能なオートローダ(AL - 3000)を準備。(オプション) さらに、インライン両面検査対応の直列および並列型のオートローダにも対応し、量産工場での自動化・省力化で威力を発揮。

< オプション >

目視確認ステーション VT-1500

標準装備の目視確認機能に追加する形で、高精度の欠陥情報をモニターするためのオプション装置。検査済みの基板をテーブルにセットして該当する基板番号を入力すると、カメラが自動的に欠陥位置に移動し、その部分を拡大表示します。PI-8000の生産性に合わせて増設が可能で、量産ライン工場での使用に適しています。(販売価格: 1,200万円)

* WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

< 紙誌面掲載用お問い合わせ先 >

大日本スクリーン製造株式会社
電子機器カンパニー 企画管理部企画課(上田)
TEL: 075-417-2632